

エル・ネット「オープンカレッジ」News

Vol.24

2006年8月10日発行 発行:(財)日本視聴覚教育協会 東京都港区虎ノ門1-19-5虎ノ門1丁目森ビル内 <http://www.opencol.gr.jp/>

平成18年度 エル・ネット オープンカレッジ「地域からの発信」コンテンツ一覧

今年度は、5地域のコンソーシアムが新規のコンテンツを提供します。各コンソーシアムのコンテンツ名と概要は、以下のとおりです。放送は10月からの予定です。なお、詳しい情報はホームページに順次掲載していきますので、ご確認ください。また、エル・ネット「オープンカレッジ」News(Vol.25～26)では、活用事例を含めた各コンテンツの内容を紹介する予定です。どうぞ、ご期待ください。

あおもり教育情報発信・活用促進協議会

コンテンツ名	コンテンツ概要
あおもり学特別講座 「戦場カメラマン沢田教一との出会い、そして今」	「安全への逃避」でピューリッツア賞を受賞した戦場カメラマン・沢田教一を支えた夫人・沢田サタさんが、夫との出会い、自らの生き方を語り、教一の素顔に迫る。
あおもり学特別講座 「遠藤周作と彼の医療観～わたしの医療軌跡から～」	作家遠藤周作が提唱した「心あたたかな病院づくり」、「患者中心の医療」。その意味の重さを改めて問い直すとともに、講師の現代医学に対する考えと、これまでの医療に従事した軌跡を振り返る。
あおもり学特別講座 「青森県の古代文化～三内丸山と是川遺跡のロマン～」	中国モンゴル自治区興隆溝遺跡の日中共同発掘プロジェクトに携わり、多くの知見を得た講師が、これまで在野の研究者として取り組んだ青森県の古代文化について、新たな視点で熱く語る。
我がふるさとシリーズ(1) 「青森県の山 白神山地」	白神山地の世界自然遺産地域を中心に、原生的ブナ林や四季折々の雄大な風景、核心地域の様子など、普段は目にすることができない映像を紹介し、環境保全について考える。
我がふるさとシリーズ(2) 北の大地から「七戸地方の米作り」 津軽の伝統農具	青森県七戸町地方の昭和初期の米作りを再現し、機械化以前の稲作について考える。津軽地方独特の農具の製造方法・使い方から、農業の今後を考える。
我がふるさとシリーズ(3) 幻の鳥オオセッカ 残された原生花園	幻の鳥オオセッカを主人公に、自然の大切さを語る。湿原に見られる、残された原生花園としての価値を確認する。
我がふるさとシリーズ(4) 南部小絵馬 秘められた庶民の祈り 北の誇り「亀ヶ岡文化」	人々の祈りを支えてきた絵馬の由来や、その意味するところを検証する。縄文晩期の土器や漆器をもとに、当時の生活を推定する。

秋田サテライト学習推進協議会

コンテンツ名	コンテンツ概要
秋田から地球を観察する - 南極大陸との関わり -	アムンゼンらと「未知の世界」南極点到達を競った秋田の白瀬轟。彼の実映像を切り口に、太古から不変の南極の独特な自然現象、生態系の絶妙なバランスを紹介する。
秋田から地球を観察する - 地下水は大丈夫か -	秋田県域の河川流域と地下水の関係を説明し、地下水・湧水と人の共生について考察する。また、秋田県内で実施している人工涵養の成果を示し、水の大切さについて考えたい。
秋田から地球を観察する - 黒鉱が語るもの -	秋田県に多産したレアメタルを含有する黒鉱は、成因が世界的に注目され、資源の探査技術は現在も広く応用されている。海底で生成した鉱物資源について解説する。
秋田から地球を観察する - 秋田の油田物語 -	なぜ秋田に石油があるのか。石油鉱床の成立条件や形成史を、秋田大学の教員がリーダーとなっている統合国際深海掘削事業の成果とともに、地球史の観点から解説する。
秋田からの健康発信 - 心の処方と地域の和 -	秋田県で実践されてきた自殺予防活動を紹介。自殺の現状とその背景、うつ状態にある人の理解や接し方、地域づくりの視点からのアプローチについて講義する。
秋田からの健康発信 - 脳卒中から身をまもる -	脳卒中の原因・治療などについて、最新情報を含め解説し、次いで普段の生活習慣の中でできる予防方法について解説する。
秋田からの健康発信 - 突然死予防を目指して -	中高年以降に発生する突然死をいかに予防するか。実際の症例や研究資料をもとに解説する。特に、生活習慣病の予防や必要性、入浴中の突然死予防対策などを述べる。

メールマガジンを毎週水曜日に配信しています。講師・講義内容・スケジュールや最新情報をお届けします。配信を希望される方は下記ホームページからご登録ください。
放送日及び講座内容は変更されることがあります。ご了承ください。また、天候により番組を見ることができない場合があります。講座内容、テキスト等詳細については、下記ホームページでご確認ください。
問い合わせ 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付 電話:03-5253-4111(内線3263・2941)

金沢大学・石川県・金沢市連絡協議会

コンテンツ名	コンテンツ概要
テレビ番組 「われら里山大家族」	金沢大学「角間の里山自然学校」を舞台に、市民ボランティアや子どもたちが竹林の整備・棚田の復元・自然観察などの活動を行っている。大学と地域の連携を描く。
ヨーロッパの里山をめぐる問題	バイエルン州などの南ドイツは、日本と同様、傾斜地の多い「条件不利地域」である。里山問題を考えるとき、ドイツの農業と環境政策は参考になる。
森あそびのすすめ	霊長類学者の河合雅雄氏は、『もっと森を楽しもう』とレジャー、教育、文化などの面から、森の活用を訴えている。特に、森が子どもたちの情操教育に役立つ。
白山之記 ～越のしらねが育んだ山の民の文化～	白山麓の旧・白峰村は、かつて山の民といわれ、自然の恵みの中で生活を営んできた。そこに人が生きる知恵が豊富にある。貴重な映像とともに、山の民の文化を紹介する。
里山回廊を歩く	里山にもっと親しんでもらおうと、金沢大学を周遊する里山ハイキングコースを選定。名所や新発見のスポットを含んだコースを、学生と里山研究員がリポートする。
今里山で何が起きているのか(上)	竹林の猛威でコナラ林が全滅、またクマが出没する里山。「角間の里山自然学校」の代表・中村浩二教授が、里山を旅する村崎修二さんとの対談も交え、問題提起する。
今里山で何が起きているのか(下)	この身近な自然である里山を、どうすれば本来の姿に戻すことができるのか。過疎の集落で人々が協力し合って里山環境を守る能登半島での事例などを紹介する。

大阪生涯学習情報コンソーシアム

コンテンツ名	コンテンツ概要
ボランティア(1) ～企業と社会貢献～	企業のCSR(企業の社会的責任)に関して、なぜ利益追求の企業が社会貢献活動に取り組むのか、社会にどんな意味をもたらすのか、NPOとの連携の可能性も含めて解説する。
ボランティア(2) ～災害支援と社会貢献～	NPO、経済界、政府などの協力により、難民や自然災害時の緊急援助を迅速、効率的に行なう「ジャパン・プラットフォーム」の活動の歩みから、共働の楽しさと大変さを考える。
ボランティア(3) ～高齢者福祉に対する社会貢献～	大阪府社会福祉協議会老人施設部会の社会貢献事業は、自らの資源を使って地域のケースに関わっている。その具体的なケースを交えて、地域における福祉問題について考える。
ボランティア(4) ～メディアと社会貢献～	インターネットなどの新しいメディアの登場により、新聞など旧来のメディアの存在意義が問われている。「メディアに社会貢献はできるか？」をテーマに解説を行なう。
ボランティア(5) ～教育と社会貢献～	地域と学校との連携が必要となってきた。学校・地域・教育委員会などの組織間連携を行ってきたe-Kokoro協議会の活動を通して、今後の教育と社会貢献を探る。
国際ボランティア(1) ～NGOと国際貢献～	ピースウィンズ・ジャパンの統括責任者・大西健丞が、NGOの世界に入るきっかけとなったイラク北部での体験、活動の軌跡について語る。
国際ボランティア(2) ～世界のマイノリティと教育問題～	少数民族、難民、移民などのマイノリティは、教育機会が限定されており、学校内でも問題を抱えている。国内・国外のマイノリティの教育問題を解説する。
国際ボランティア(3) ～被災地の復興支援～	東ティモールにおける紛争後の援助方策や、パキスタンの被災地における子どもの心理的ケアを目的とした活動などを事例に、紛争後や被災地での復興支援について考察する。

久留米地域参画推進連絡協議会

コンテンツ名	コンテンツ概要
エイジングと栄養	加齢による身体機能の低下は、努力次第で遅らせることができる。健やかなシニアライフを楽しむための食生活について概説する。
エイジングと栄養	シニア世代が豊かな「食」の体験を通して培ってきた健康生活を、次世代に継承すること(食育)の意義を考える。食事バランスガイドを参考に解説する。
シニアのための料理 - 入門編	献立作成から食品の購入、保存の仕方、調理に至るまでの一連について、初めて料理を作る人でも理解できるよう、平易に調理の基本を概説する。
シニアのための料理 - 実践編	健康状態に配慮したさまざまな調理法を学び、栄養的に工夫した短時間で簡単にできる、おいしい手間なし料理を実習風景と共に紹介する。
エイジングと運動	ライフスタイルの変化やエイジングが健康に及ぼす影響を理解した上で、そのような諸問題を解消したり軽減したりするのに適した運動を実践的に紹介する。
未来をつなぐスローフード	次世代に伝えたい食生活について代表的な郷土料理を取り上げ、栄養学的見地から、その特徴などについて解説を行なう。
食を通じたボランティア	食生活改善に取り組んでいる男性ボランティアグループの活動を紹介し、「食」を通じた地域の小学生との交流体験のあり方について考える。